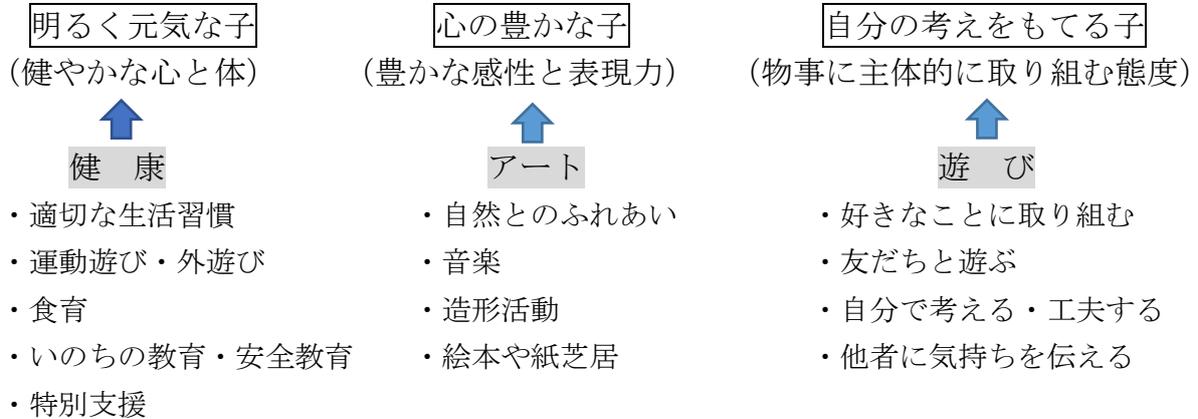


# 令和6年度 八戸学院幼稚園自己評価 概要

## 1 教育・保育目標



## 2 重点目標

- ①法人内大学、短期大学部、高等学校との連携を強化する。
- ②クラス間、学年間の交流を促進する。
- ③業務の効率化を図る。
- ④子育て支援活動を推進する。

## 3 保護者アンケート

本園の教育・保育活動に関するアンケート調査を実施しました（回答者は121名）。「そう思う」回答が平均で67%（去年は70%）、「ややそう思う」回答と合わせると平均95%という高い評価をいただくことができました。重点目標である法人内連携に関連する「法人内の大学・短大・高校や他幼稚園との連携が園の教育・保育活動に活かされている」「絵本や紙芝居、音楽や造形などの教育活動が積極的に行われている」については、どちらも「そう思う」の割合が昨年よりも若干上がっており、コメントでも「よその園では経験できない」という評価をいただきました。本園の特徴として保護者の皆さまに認められている重要なポイントであり、今後も大切にしていきたいと思っております。

重点目標の②のクラス間・学年間交流はアンケートには盛り込んでいませんでしたが、保護者からのコメントで「クラス・年齢を越えた保育のおかげで子どもが友だちを作りやすく、幼稚園が楽しいと言っている」というものがあり、手応えを感じています。

昨年との比較で最も評価が上がったのは「おたより、HP、ドキュメンテーション等の内容を充実させ、幼稚園の情報を保護者に適切に伝えている」でした。これは園でも注力した点であり、ホームページのトピックスを計画的にアップし、ドキュメンテーションは担任が工夫を凝らしたものを掲示・配信してきましたが、そうした活動が成果を結んだものと嬉しく思っています。

保護者の皆さまからはたくさんの温かいコメントをいただきました。献立表の改善など具体的に良かった点を記していただいたのも励みになります。また、さまざまな要望もいただきました。すべてを取り入れることはできませんが、改善に繋げられることもありましたので、参考にさせていただきます。なお、個々の要望への回答は後述しました。

#### 4 教職員自己評価

昨年、一昨年と同じ項目で自己評価を実施しました。項目によっては回答の対象にならない職員もいるため、その場合は対象外として人数から除外しています。項目ごとの回答者の人数はグラフの項目名の後ろに記しました。

全体的な傾向はこれまでとあまり変わりはありません。言葉がけやスキンシップによる子ども一人一人との丁寧なやり取り、子どもの心身の観察と安心・安全な環境づくりについては達成できている（と考える）職員が多くありました。保護者アンケートの結果やコメントと考え合わせると、「子ども一人一人を大切にした保育」はかなり達成できていると思われれます。また、重点目標の②に関わる「他学年との交流」は昨年より肯定的回答が大きく増えました。これは保護者からのコメントとも合致しています。職員会議でも、きょうだい園児がいること等をきっかけとして交流が増え、それが子どもに良い影響を与えていることは報告されており、こうした交流が園の文化として根付いてほしいと願っています。

一方で、「まだ足りない」と答える職員が比較的多かったのは、子どもの力を育てるための環境の構成や活動の工夫で、教育に深く関わる部分になります。職員（特に担任）の意識の高さとも言えますが、やはりじっくりと取り組むための時間的な余裕がないことが要因として考えられます。これは園運営上の大きな課題と受け止めています。

発達気になる子どもに対する援助についても「足りない」と考える職員が多くいますが、この点は研修等の機会を通じて、よりいっそうの勉強が求められる部分と言えるでしょう。法人の短期大学の教授が発達支援アドバイザーとして年に数回発達相談に来てくださっており、それも職員には貴重な学びとなっていると思われれます。